

OUTLINE 2022

Mie University Graduate School of Medicine / Faculty of Medicine and Mie University Hospital Outline

三重大学大学院 医学系研究科・医学部

三重大学医学部附属病院

概要 2022



 三重大学医学部

基本理念

確固たる使命感と倫理観をもつ医療人を育成し、
 豊かな創造力と研究能力を養い、
 人類の健康と福祉の向上につとめ、地域および国際社会に貢献する。

 三重大学医学部附属病院

基本理念

本院は、信頼と安心が得られる地域医療の拠点として、
 未来を拓く診療・研究を推進し、
 人間性豊かな優れた医療人を育成する。

基本方針

- 地域の拠点病院として、安全で質の高い先進的な医療を提供します。
- 臨床研修機関として、次代の担い手となる人間性豊かな人材を育成します。
- 新しい医療を目指す臨床研究を推進し、社会に貢献します。
- 医療・医育機関との連携・支援を推進し、地域医療の発展に尽くします。
- 疾病の予防を目指した教育・研究を推進します。
- 上記の基本方針を推進するために、健全で成長性のある病院経営を行います。



医学教育分野別評価
 適合認定証



公益財団法人 日本医療
 機能評価機構認定証



がんゲノム医療拠点病院
 指定書



小児がん
 拠点病院指定書



特定行為研修
 指定研修機関指定証

Contents

- 01 基本理念
- 02 ご挨拶
- 04 沿革
- 06 組織図

職員・学生について

- 08 役職員
 - ・大学院医学系研究科・医学部
 - ・医学部附属病院
- 11 職員現員
- 11 歴代研究科長等
- 12 学生
 - ・医学部
 - ・大学院医学系研究科

大学院医学系研究科・医学部について

- 14 図書及び雑誌
- 14 国際交流
- 15 解剖体数
- 15 科学研究費助成事業採択状況
- 15 外部資金受入状況

医学部附属病院について

- 16 病院各階案内図
- 17 附属病院の業務状況
- 19 医療行為統計
- 21 医療機関等の指定状況等
- 26 敷地及び建物面積
- 27 建物配置図
- 28 所在地・アクセス

三重大学大学院医学系研究科・医学部 医学系研究科長・医学部長 ご挨拶

医学部の前身は1943年に開設された三重県立医学専門学校であり、2023年には開校80周年を迎えます。1947年に県立大学に移行し、1972年には国立に移管されました。

医学部は医学科と看護学科から構成され、大学院医学系研究科には、医科学専攻修士課程、生命医科学専攻博士課程、看護学専攻博士前期および後期課程が設置されています。医学部は開校以来、現在まで継続して保健医療福祉を支える人材を地域に輩出してきました。しかし、社会構造の変化に伴う医療ニーズの多様化、医療技術の高度専門化に伴い、地域社会が必要とする医療専門職の不足が顕在化しています。医学科では、三重県内の医師不足を解決すべく、入学定員増(1学年定員を100名から125名に拡大)、地域枠入学選抜制度の導入(定員125名のうち地域枠関連枠35名)、三重県市町村振興協会との協定に基づく地域医療教育の強化に取り組んでいます。看護学科においても地域枠入学選抜制度を導入し、看護学科学者が医学科学生とともに地域で学ぶ実習を開始しました。これらの取り組みなどにより、医師・看護師不足は改善しつつありますが、医師・看護師の地域内での偏在、診療科の偏在、新型コロナウイルス感染症パンデミックで強く意識させられた感染症医療人材・公衆衛生人材の不足などの課題があります。地域社会から期待される医学部であり続けるために、これらの課題の解決に向けて継続して取り組む必要があると考えています。

地方国立大学には地域社会と共生することが求められていますが、それにとどまることなく、研究活動を通して人類の健康や福祉を向上させる“知”を創出していくことも私達の役割であると考えています。医学系研究科には優秀な研究者が多く在籍しており、世界に通用する研究業績を発信しています。また、卓越した教育研究活動を実践することで魅力ある大学にならなければ大学間競争に取り残されてしまう状況があります。医学部での教育研究活動の特徴のひとつに高い国際性があります。医学部では第6学年の学生をアジア・アフリカの国々での臨床実習に送り出しています。これまでに海外臨床実習に参加した学生数は500名を超えています。大学院教育では、文部科学省「国費外国人留

学生の優先配置を行う特別プログラム」に2013年度と2019年度に採択され、ガーナやザンビア、ミャンマーなどからの留学生が増加しています。2021年には日本医学教育評価機構・世界医学教育連盟による医学教育分野別評価での認証を受けました。さらに、2020年度厚生労働省「総合的な診療能力を持つ医師の養成推進事業」と2021年度文部科学省「感染症医療人材養成事業」に採択され、それぞれの事業で特色のある教育を展開しています。

三重大学は伊勢湾に沿った自然豊かな地に立地し、創設時からの大学のシンボルカラーである翠(澄みわたる空・緑まぶしい樹木・紺碧の海)が映えるキャンパスで学生達は学んでいます。恵まれた学習環境で学生達は医学の勉学に勤しむとともに、医療者に求められる強いかからだと豊かな人間性を育てています。その成果は、過去数年にわたる西日本医科学生総合体育大会での好成績に顕れています。

2019年から流行が拡大した新型コロナウイルス感染症により、医学部の運営や教育研究活動に大きな影響が出ています。医学部には、組織運営の柔軟さと困難に耐える強靭さ、迅速な意思決定、さらには社会への貢献を強く求められていることを意識させられた2年余でした。学生達も入学式や卒業式の中止、対面授業の制限など、学生生活の中で感動やよろこびを感じ、人との交流を楽しむ機会を奪われました。これからは地域社会での流行状況と流行する変異ウイルスの病原性を科学的に判断し、授業と課外活動の制限の緩和・解除を進めていきます。

大学院医学系研究科・医学部は、学生と教職員との協力の下に未来を創造する教育研究活動を推進し、社会への貢献とともに社会に対する説明責任を果たしていきます。今後とも三重大学大学院医学系研究科・医学部の教育研究活動へのご理解とご支援をお願い致します。

医学系研究科長・医学部長
堀 浩樹



三重大学医学部附属病院 病院長 ご挨拶

このたび、三重大学医学部附属病院の病院長に就任いたしました池田智明と申します。以下、ご挨拶を兼ねて、本院についてご紹介いたします。

本院は、1876年(明治9年)に三重県医学校兼治療所が、安濃郡塔世村(現在の津市栄町)に設置されたことに端を発します。戦時中の1944年(昭和19年)、三重県立医学専門学校の設立に合わせて同附属病院となりました。この時点から数えて、もうすぐ80年目となります。その後、1972年(昭和47年)には県立大学医学部から国立移管、翌年に現在の場所(津市江戸橋)に移転いたしました。2012年(平成24年)1月に、屋上にヘリポートを備えた12階建ての新病棟が稼働し、2015年(平成27年)5月に新外来・診療棟が開院し、さらに2018年(平成30年)3月に駐車場・外構工事も終了して、ここに新しい本院が完成しました。

本院は、厚生労働省が指定した全国87病院のうち、三重県で唯一の「特定機能病院」です。1)人間性豊かな優れた医師や医療者の育成、2)最先端の医療や医療技術の開発、そして3)「最後の砦」となる重症患者さんに対する医療を展開しております。一昨年から新型コロナウイルス感染症では、三重県で発生した約60パーセントの重傷者を受け入れ、人工呼吸療法やECMO療法(人工肺とポンプを用いた体外循環回路による治療)を施行してきました。三重大学病院は、一般病床655床、精神科病床30床、救急救命センター集中治療室(ICU)8床、病棟ICU6床、高度治療室10床、新生児集中治療室12床、母体胎児集中治療室6床を有しており、高度急性期・急性期医療を中心に行っています。年間約1万8千人の入院患者さん、約33万人の外来患者さんを受け入れています。手術室は16室あり、年間約7000件の手術を行っています。

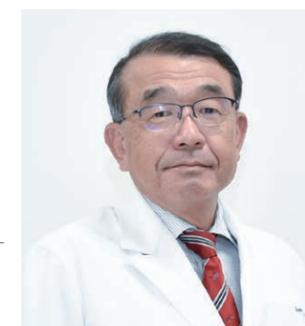
がん診療は、最近、オーダーメイド医療が進んできています。すなわち、個人の遺伝子やがん組織の遺伝子を調べ、それぞれの患者さんにとって最適な治療法を、がん専門医が決定しています。また、術後の痛みが少ない低

侵襲の手術を行うために、本院は内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」サージカルシステムを2台備え、毎日施行しています。さらに、最新の薬物療法を導入した外来化学療法室も完備しています。社会的や経済的な問題にも対応できるように、「がん相談支援センター」がありますので、ご相談ください。

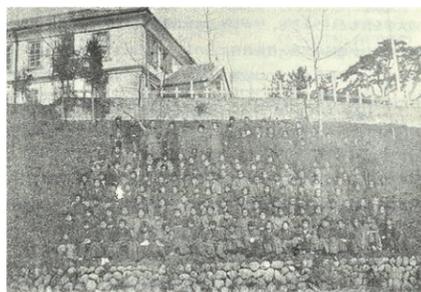
その他の高度先端医療として、循環器病に対する経カテーテル動脈弁留置術(TAVI)、経皮的僧帽弁クリップ術MitraClip、脳卒中のカテーテル治療、人工関節手術のナビゲーションシステムによる治療など、各診療科はわが国の第一線の診療を展開しています。

2022年4月からは、麻酔科診療も新体制となり、安全な手術や集中治療を行えるようになりました。患者さんの安全ファーストの診療を行っております。今後、安心・安全で、新しい時代のニーズに応えられるような病院となるよう、努力してまいります。どうぞよろしく願い申し上げます。

病院長
池田 智明



- 1876 明治9年
【5月】三重県医学校が安濃郡塔世村(現在の津市栄町)三重県公立病院内に設立される
- 1883 明治16年
【9月】文部省より甲種医学校(全国で13校)として認可される
- 1889 明治22年
【9月】三重県公立病院の施設を私立今井病院に貸与
- 1910 明治43年
【4月1日】私立今井病院の貸与期間満了につき三重県から移管され津市立病院となる
- 1943 昭和18年
【12月10日】三重県立医学専門学校設立/
津市立病院が移管され同附属病院となる
- 1944 昭和19年
【4月】三重県立医学専門学校開校
- 1947 昭和22年
【6月18日】三重県立医科大学設置
- 1948 昭和23年
【4月1日】三重県立医科大学附属医院
厚生女学部(甲種看護婦養成所)開校
- 1950 昭和25年
【3月14日】三重県立大学設置
- 1952 昭和27年
【2月20日】三重県立大学医学部設置
- 1959 昭和34年
【3月20日】
三重県立大学大学院医学研究科設置
- 1972 昭和47年
【5月1日】三重大学医学部設置
三重県立大学医学部を国立移管



三重県甲種医学校(津市栄町)



※戦時中:黒塗り
医学専門学校附属病院本館(現・県立美術館周辺)



三重県立大学 大谷町校舎



医学基礎校舎(津市栄町安濃川(塔世橋)周辺)

- 1973 昭和48年
【10月1日】三重大学医学部附属病院設置
三重県立大学医学部附属病院を国立移管
- 1975 昭和50年
【4月1日】三重大学大学院医学研究科(博士課程)設置
- 1991 平成3年
【3月31日】三重大学医学部附属看護学校廃止
- 1997 平成9年
【10月1日】医学部に看護学科を設置
- 2001 平成13年
【4月1日】大学院医学研究科に医科学専攻(修士課程)を設置
- 2002 平成14年
【3月20日】附属病院に卒後臨床研修部を設置
- 2003 平成15年
【4月1日】大学院医学系研究科を改組し「生命医科学専攻」を設置
- 2006 平成18年
【6月28日】附属病院にがんセンターを設置
- 2012 平成24年
【2月1日】三重県ドクターヘリの運航を開始
- 2013 平成25年
【9月1日】小児トータルケアセンターを設置
- 2015 平成27年
【2月1日】専門医研修支援センターを設置
【5月7日】新外来・診療棟開院
- 2016 平成28年
【4月1日】看護学専攻(博士前期課程)と
看護学専攻(博士後期課程)を設置



旧 医学部附属病院(津市江戸橋)



医学部看護学科校舎



三重大学

組織図

大学院 医学系研究科

- 博士課程
- 博士前期課程・後期課程
- 修士課程

- 生命医科学専攻
- 看護学専攻
- 医科学専攻

- ◆ 基礎看護学領域
看護教育学/看護管理学/実践基礎看護学
- ◆ 実践看護学領域
がん看護学/成人看護学
母性看護・助産学
小児看護学/老年看護学
- ◆ 広域看護学領域
精神看護学/地域看護学
- ◆ 看護学領域
看護教育学/実践基礎看護学
成熟期看護学/母子看護学
精神・ストレス健康科学/地域看護学

- ◆ 基礎医学系講座
組織学・細胞生物学 分子生理学 分子病態学 環境分子医学 免疫制御学
発生再生医学 修復再生病理学 感染症制御医学・分子遺伝学 公衆衛生・産業医学 動物機能ゲノミクス
生化学 腫瘍病理学 免疫学 法医学科学 遺伝子病態制御学
幹細胞発生学 統合薬理学 医動物・感染医学 医学医療教育学 細胞生物学・再生医療学

- ◆ 臨床医学系講座
循環器・腎臓内科学 精神神経科学 産科婦人科学 麻酔科学 臨床がんゲノム学
血液・腫瘍内科学 小児科学 脳神経外科学 救急災害医学 臨床形態異常学
消化器内科学 皮膚科学 運動器外科学・腫瘍集学治療学 リハビリテーション医学 臨床検査医学
呼吸器内科学 放射線医学 腎泌尿器外科学 臨床薬剤学 ゲノム医療学
代謝内分泌内科学 肝胆膵・移植外科学 眼科学 病態解析内科学
神経病態内科学 消化管・小児外科学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 新生児学
リウマチ膠原病内科学 胸部心臓血管外科学 口腔・顎顔面外科学 成育医学
家庭医療学 乳腺外科学 形成外科学 健康増進・予防医療学

- ◆ 産学官連携講座
臨床創薬研究学講座 システムズ薬理学講座 個別化がん免疫治療学講座
- ◆ 寄附講座
認知症医療学講座 先進医療外科学講座 スポーツ整形外科学講座 先進画像診断学講
- ◆ 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン
先進がん治療学講座 地域支援神経放射線診断学講座 先進血液腫瘍学講座 脊椎先端治療学講座

医学部

- 医学科
- 看護学科
- 附属施設

医学・看護学教育センター

- ◆ 寄附講座
亀山地域医療学講座 三重県総合診療地域医療学講座 名張地域医療学講座
脊髄末梢神経低侵襲外科学講座 神経・筋病態学講座 脊椎集学治療講座
地域血液内科講座 地域連携血管内治療学講座 神経画像病態学講座 上肢整形外科学講座

医学部 附属病院

- 診療部門
- 中央部門
- 支援部門
- 薬剤部
- 看護部

- ◆ 医療情報管理部
- ◆ 臨床研修・キャリア支援部
- ◆ 医療安全管理部
- ◆ 感染制御部
- ◆ がんセンター
- ◆ Aiセンター
- ◆ 広報センター
- ◆ CCUネットワーク支援センター
- ◆ 疫学センター
- ◆ 災害対策推進・教育センター
- ◆ 災害医療センター
- ◆ 国際医療支援センター
- ◆ 総合サポートセンター
- ◆ チーム医療推進センター
- ◆ バイオバンクセンター
- ◆ 感染症危機管理センター

- ◆ 総合診療科
- ◆ 内科
- ◆ 外科
- ◆ 精神科神経科
- ◆ ゲノム診療科
- ◆ 周産母子センター
- ◆ 乳腺センター
- ◆ 血管ハートセンター
- ◆ 高度生殖医療センター
- ◆ リウマチ・膠原病センター
- ◆ 消化器病センター
- ◆ 漢方医学センター

- ◆ 中央検査部
- ◆ 中央手術部
- ◆ 中央放射線部
- ◆ 中央材料部
- ◆ 輸血・細胞治療部
- ◆ 集中治療部
- ◆ 病理部
- ◆ 光学医療診療部
- ◆ 血液浄化療法部
- ◆ リハビリテーション部
- ◆ 栄養診療部
- ◆ 臨床工学部
- ◆ 外来化学療法部
- ◆ 肝炎相談支援センター
- ◆ 臓器移植センター
- ◆ 口腔ケアセンター
- ◆ 小児・AYAがんトータルケアセンター
- ◆ 認知症センター
- ◆ 緩和ケアセンター
- ◆ 痛みセンター

医学・病院 管理部

- ◆ 総務課
総務係/秘書広報係 企画評価係/人事係 職員係/病院研修室
- ◆ 経営管理課
総括・管理係/医療消耗品係 病院経営企画係/予算第一係 予算第二係/施設係 研究支援室
- ◆ 学務課
学務第一係 学務第二係 図書係
- ◆ 医事課
医事係 診療管理係 医療情報管理係
- ◆ 医療支援課
診療案内係 医療安全対策係 診療支援係 医療福祉係/収入係

(令和4年5月1日現在)

職員・学生について

役職員 Faculty and Administrative Office

(令和4年5月1日現在)

大学院医学系研究科・医学部

医学系研究科長(兼)	堀 浩樹	医学部長(兼)	堀 浩樹
教育研究評議会評議員(兼)	野阪 哲哉	看護学専攻長(兼)	林 智子
副研究科長(兼)	高尾 仁二	看護学科長(兼)	林 智子
副研究科長(兼)	成田 正明		

大学院医学系研究科

基礎医学系講座(教育研究分野)

組織学・細胞生物学	教授	後藤 英仁	免疫学	教授	ガバザ・エステバン
発生再生医学	教授	成田 正明	医動物・感染医学	教授	油田 正夫
生化学	教授	竹本 研	環境分子医学	教授	村田 真理子
幹細胞発生学	教授	山崎 英俊	公衆衛生・産業医学	教授	笠島 茂
分子生理学	教授	(堀 浩樹)	法医学科学	教授	小谷 泰一
修復再生病理学	教授	今中 恭子	医学医療教育学	教授	堀 浩樹
腫瘍病理学	教授	渡邊 昌俊	免疫制御学	連携教授	保富 康宏
統合薬理学	教授	西村 有平	動物機能ゲノミクス	准教授	(鈴木 昇)
分子病態学	教授	島岡 要	遺伝子病態制御学		
感染症制御医学・分子遺伝学	教授	野阪 哲哉	細胞生物学・再生医療学	連携教授	梅澤 明弘

臨床医学系講座

循環器・腎臓内科学	教授	土肥 薫	腎泌尿器外科学	教授	井上 貴博
血液・腫瘍内科学	教授	俵 功	眼科学	教授	近藤 峰生
消化器内科学	教授	中川 勇人	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	教授	竹内 万彦
呼吸器内科学	教授	小林 哲	口腔・顎顔面外科学	教授	新井 直也
代謝内分泌内科学	教授	小林 哲	形成外科学	教授	成島 三長
神経病態内科学	教授	(鈴木 秀謙)	麻酔科学	教授	賀来 隆治
リウマチ膠原病内科学	教授	中島 亜矢子	救急災害医学	教授	今井 寛
家庭医療学	教授	(堀 浩樹)	リハビリテーション医学	教授	百崎 良
精神神経科学	教授	岡田 元宏	臨床薬剤学	教授	岩本 卓也
小児科学	教授	平山 雅浩	臨床検査医学	教授	田辺 正樹
皮膚科学	教授	山中 恵一	ゲノム医療学	教授	奥川 喜永
放射線医学	教授	佐久間 肇	病態解析内科学	連携教授	白木 克哉
肝胆膵・移植外科学	教授	水野 修吾	〃	連携教授	和田 英夫
消化管・小児外科学	教授	問山 裕二	新生児学	連携教授	田中 滋己
胸部心臓血管外科学	教授	高尾 仁二	成育医学	連携教授	谷口 清州
乳腺外科学	教授	小川 朋子	健康増進・予防医療学	教授	小林 由直
産科婦人科学	教授	池田 智明	〃	教授	谷井 久志
脳神経外科学	教授	鈴木 秀謙	臨床がんゲノム学	連携教授	宮城 洋平
運動器外科学・腫瘍集学治療学	教授	須藤 啓広	臨床形態異常学	連携教授	黒澤 健司

産学官連携講座

臨床創薬研究学講座	教授	(近藤 峰生)	個別化がん免疫治療学講座	教授	宮原 慶裕
システムズ薬理学講座	教授	(井上 貴博)	〃	(特任教員・特任教授)	渡辺 隆
個別化がん免疫治療学講座	教授	藤原 弘	〃	(特任教員・特任教授)	谷 一寿

寄附講座

認知症医療学講座	准教授	(新堂 晃大)	神経・筋病態学講座	教授	田中 稔久
先進医療外科学講座	教授	(問山 裕二)	脊髄末梢神経低侵襲外科学講座	教授	水野 正喜
スポーツ整形外科学講座	教授	(須藤 啓広)	脊椎集学治療学講座	教授	(須藤 啓広)
先進画像診断学講座	教授	北川 寛也	脊椎先端治療学講座	教授	(須藤 啓広)
先進がん治療学講座	教授	野本 由人	地域血液内科講座	教授	(俵 功)
先進血液腫瘍学講座	教授	山口 素子	地域支援神経放射線診断学講座	教授	前田 正幸
亀山地域医療学講座	教授	(山本 憲彦)	地域連携血管内治療学講座	教授	加藤 憲幸
〃	教授	若林 英樹	神経画像病態学講座	教授	伊井 裕一郎
名張地域医療学講座	教授	(山本 憲彦)	上肢整形外科学講座	教授	(須藤 啓広)
三重県総合診療地域医療学講座	教授	(山本 憲彦)			

看護学科専攻

基盤看護学	教授	林 智子	実践看護学	教授	磯和 勅子
〃	教授	福録 恵子	広域看護学	教授	片岡 三佳
〃	教授	榎屋 正浩	〃	教授	西出 りつ子
実践看護学	教授	竹内 佐智恵	〃	教授	谷村 晋
〃	教授	安積 陽子	看護学科附属病院連携推進室	講師	林 智世
〃	教授	松岡 真里			

医学部附属病院

病院長(兼)	池田 智明	副病院長(兼)	江藤 由美
副病院長(兼)	佐久間 肇	副病院長(兼)	兼兒 敏浩
副病院長(兼)	平山 雅浩	副病院長(兼)	土肥 薫
副病院長(兼)	水野 修吾	副病院長(兼)	渡邊 昌俊
副病院長(兼)	鈴木 秀謙		

[診療科]

総合診療科長(兼)	山本 憲彦
-----------	-------

[内科]

循環器内科長(兼)	土肥 薫	腫瘍内科長(兼)	水野 聡朗
血液内科長(兼)	俵 功	腎臓内科長(兼)	村田 智博
消化器・肝臓内科長(兼)	中川 勇人	糖尿病・内分泌内科長(兼)	矢野 裕
脳神経内科長(兼)	池田 智明	感染症内科長(兼)	鈴木 圭
呼吸器内科長(兼)	小林 哲		

[外科]

一般外科長(兼)	水野 修吾	心臓血管外科長(兼)	庄村 遊
消化管外科長(兼)	問山 裕二	呼吸器外科長(兼)	高尾 仁二
肝胆膵・移植外科長(兼)	水野 修吾	乳腺外科長(兼)	小川 朋子

[外科]

小児外科長(兼)	小池 勇樹
整形外科長(兼)	湊藤 啓広
産科婦人科長(兼)	池田 智明
小児科長(兼)	平山 雅浩
精神科神経科長(兼)	岡田 元宏
皮膚科長(兼)	山中 恵一
腎泌尿器外科長(兼)	井上 貴博
眼科長(兼)	近藤 峰生
耳鼻咽喉・頭頸部外科長(兼)	竹内 万彦
脳神経外科長(兼)	鈴木 秀謙

[診療部門等]

総合診療部長(兼)	山本 憲彦
ゲノム医療部長(兼)	奥川 喜永
救命救急・総合集中治療センター長(兼)	今井 寛
周産母子センター長(兼)	平山 雅浩
乳腺センター長(兼)	小川 朋子
血管ハートセンター長(兼)	土肥 薫
高度生殖医療センター長(兼)	池田 智明
リウマチ・膠原病センター長(兼)	中島 亜矢子
消化器病センター長(兼)	水野 修吾
漢方医学センター長(兼)	高村 光幸
中央検査部長(兼)	田辺 正樹
中央手術部長(兼)	問山 裕二
中央放射線部長(兼)	佐久間 肇
中央材料部長(兼)	井上 貴博
輸血・細胞治療部長(兼)	大石 晃嗣
集中治療部長(兼)	賀来 隆治
病理部長(兼)	渡邊 昌俊
光学医療診療部長(兼)	中川 勇人
血液浄化療法部長(兼)	片山 鑑
リハビリテーション部長(兼)	百崎 良
栄養診療部長(兼)	兼兒 敏浩
臨床工学部長(兼)	竹内 万彦
外来化学療法部長(兼)	齋藤 佳菜子
肝炎相談支援センター長(兼)	中川 勇人

[薬剤部]	薬剤部長	岩本 卓也
---------	------	-------

[医学・病院管理部]

管理部長	伊藤 敦士
総務課長	粟生 泰幸
総務課副課長	小島 佑介
〃	紀平 敬志
経営管理課長	伊藤 利宏
経営管理課副課長	山下 城
〃	林 俊夫

形成外科長(兼)	成島 三長
放射線科長(兼)	佐久間 肇
病理診断科長(兼)	渡邊 昌俊
ゲノム診療科長(兼)	奥川 喜永
麻酔科長(兼)	賀来 隆治
緩和ケア科長(兼)	賀来 隆治
救急科長(兼)	今井 寛
歯科口腔外科長(兼)	新井 直也
リハビリテーション科長(兼)	百崎 良

臓器移植センター長(兼)	水野 修吾
口腔ケアセンター長(兼)	新井 直也
小児・AYAがんトータルケアセンター長(兼)	岩本 彰太郎
認知症センター長(兼)	池田 智明
緩和ケアセンター長(兼)	池田 智明
痛みセンター長(兼)	賀来 隆治
医療情報管理部長(兼)	佐久間 肇
臨床研修・キャリア支援部長(兼)	水野 修吾
医療安全管理部長(兼)	兼兒 敏浩
感染制御部長(兼)	田辺 正樹
臨床研究開発センター長(兼)	田丸 智巳
がんセンター長(兼)	水野 聡朗
Aiセンター長(兼)	兼兒 敏浩
広報センター長(兼)	百崎 良
CCUネットワーク支援センター長(兼)	土肥 薫
疫学センター長(兼)	筈島 茂
災害対策推進・教育センター長(兼)	岸和田 昌之
災害医療センター長(兼)	金子 唯
国際医療支援センター長(兼)	成島 三長
総合サポートセンター長(兼)	江藤 由美
チーム医療推進センター長(兼)	兼兒 敏浩
バイオバンクセンター長(兼)	渡邊 昌俊
感染症危機管理センター長(兼)	佐久間 肇

[看護部]	看護部長	江藤 由美
---------	------	-------

経営管理課副課長	藤岡 忍
学務課長	長谷川 和也
医事課長	寺前 利治
医事課副課長	世古 浩之
医療支援課長	柘植 智司
医療支援課副課長	福田 雄一

職員現員 *Regular Numbers of Staff*

(令和4年5月1日現在)

区分	大学院医学系研究科						医学部		附属病院 (休職者及び 育児休業者を含む)	(休職者 及び育児 休業者)	
	生命医科学 専攻 (休職者及び 育児休業者を含む)	(休職者 及び育児 休業者)	看護学 専攻 (休職者及び 育児休業者を含む)	(休職者 及び育児 休業者)	寄附 講座等 (休職者及び 育児休業者を含む)	(休職者 及び育児 休業者)	寄附 講座等 (休職者及び 育児休業者を含む)	(休職者 及び育児 休業者)			
大学 教員	教授	35	(0)	10	(0)	6	(0)	5	(0)	11	(0)
	准教授	24	(0)	7	(0)	0	(0)	0	(0)	20	(0)
	講師	15	(0)	1	(0)	2	(0)	1	(0)	46	(0)
	助教	29	(0)	10	(0)	5	(0)	18	(0)	143	(4)
	計	103	(0)	28	(0)	13	(0)	24	(0)	220	(4)
									168(0)		
医療技術職員										191	(6)
看護職員										648	(36)
その他職員									26(0)	128	(7)
合計									194(0)	1,187	(53)

歴代研究科長等 *Chronological Lists Deans and Directors*

[研究科長]

(令和4年5月1日現在)

鎮西 康雄	平17.4.1～平18.2.9	片山 直之	平29.4.1～令2.3.31
駒田 美弘	平18.2.10～平22.3.31	湊藤 啓広	令2.4.1～令4.3.31
登 勉	平22.4.1～平25.3.31	堀 浩樹	令4.4.1～
緒方 正人	平25.4.1～平29.3.31		

[医学部長]

三上 美樹 (事務取扱)	昭47.5.1～昭48.3.31	矢谷 隆一	平6.4.1～平10.2.9
	昭48.4.1～昭49.2.9	珠玖 洋	平10.2.10～平14.2.9
武田 進	昭49.3.10～昭53.3.9	鎮西 康雄	平14.2.10～平18.2.9
井澤 道	昭53.3.10～昭55.2.9	駒田 美弘	平18.2.10～平22.3.31
武田 進	昭55.2.10～昭59.2.9	登 勉	平22.4.1～平25.3.31
横山 實	昭59.2.10～昭61.2.9	緒方 正人	平25.4.1～平29.3.31
伊豆津 公作	昭61.2.10～昭63.2.9	片山 直之	平29.4.1～令2.3.31
杉山 陽一	昭63.2.10～平3.3.31	湊藤 啓広	令2.4.1～令4.3.31
水本 龍二	平3.4.1～平6.3.31	堀 浩樹	令4.4.1～

[附属病院長]

井澤 道	昭48.10.1～昭52.9.30	川村 壽一	平11.4.1～平13.3.31
宮地 一馬	昭52.10.1～昭56.9.30	葛原 茂樹	平13.4.1～平17.3.31
三吉 康郎	昭56.10.1～昭60.3.31	内田 淳正	平17.4.1～平21.3.31
竹澤 英郎	昭60.4.1～昭62.3.31	竹田 寛	平21.4.1～平25.9.30
水本 龍二	昭62.4.1～平元.3.31	伊藤 正明	平25.10.1～令元.9.30
草川 實	平元.4.1～平5.3.31	伊佐地 秀司	令元.10.1～令4.3.31
鈴木 宏志	平5.4.1～平9.3.31	池田 智明	令4.4.1～
坂倉 康夫	平9.4.1～平11.3.31		

[附属動物実験施設長]

塩見 俊朗	昭54.6.16～昭60.3.31	鎮西 康雄	平8.4.1～平12.3.31
坂本 弘	昭60.4.1～平4.3.31	栗林 景容	平12.4.1～平15.3.31
野坂 昭一郎	平4.4.1～平8.3.31		

学生 Students

医学部

[入学定員及び現員]

(令和4年5月1日現在)

学科名	区分	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		合計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
医学科	入学定員	125		125		125		125		125		125		750	
	現員	75	50	74	52	88	43	77	48	95	35	92	40	501	268
看護学科	入学定員	80		80		90 (3年次編入 10名含む)		90 (3年次編入 10名含む)						340	
	現員	3	77	2	81	4	73	4	76					13	307

[卒業者数]

(令和4年5月1日現在)

学科名	昭和51年度～ 平成24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成31/ 令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	計
医学科	3,728	109	118	126	122	127	119	129	127	113	4,818

- 内訳
- ・三重県立医学専門学校 ……277名
 - ・三重大学医学部医学科 ……4,818名
 - ・三重県立医科大学 ……161名
 - ・三重県立大学医学部 ……930名

(令和4年5月1日現在)

学科名	平成13年度～ 平成24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成31/ 令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	計
看護学科	1,056	94	87	79	81	79	77	77	82	82	1,794

- 内訳
- ・三重大学医療技術短期大学部 ……715名
 - ・三重大学医学部看護学科 ……1,794名

大学院 医学系研究科

[入学定員及び現員]

(令和4年5月1日現在)

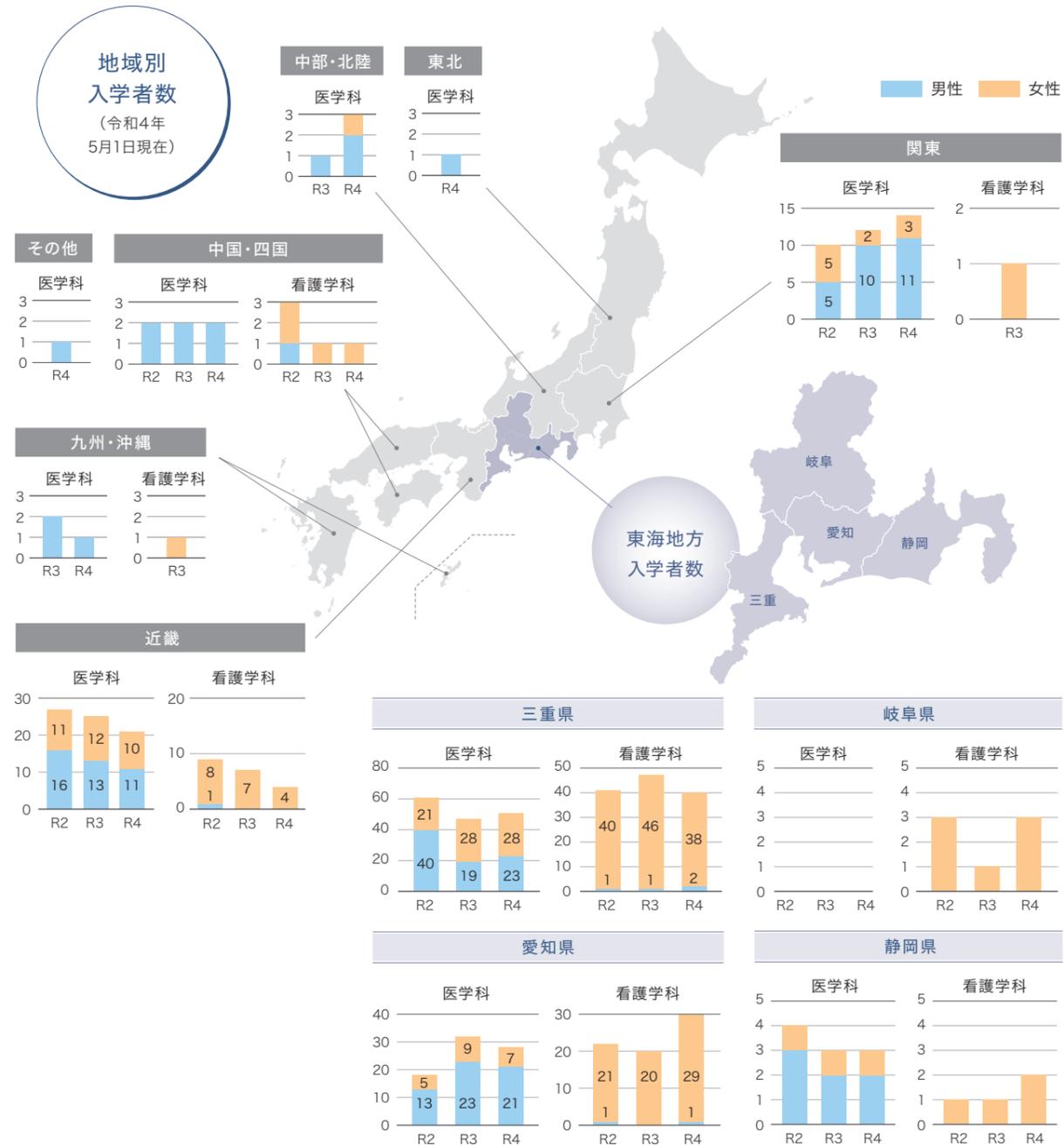
区分		収容定員		現員				合計
		入学定員	総定員	1年	2年	3年	4年	
修士・博士 前期課程	医科学	12	24	8	3			11
	看護学	11	22	7(6)	25(10)			32(16)
博士後期課程	看護学	3	9	3	3	14		20
博士課程	生命医科学	45	180	46(36)	53(44)	48(34)	68(49)	215(163)
合計		71	235	64 (36)(6)	84 (44)(10)	62(34)	68(49)	278 (163)(16)

()内は、昼夜開講制による学生を内数で示す/〈 〉内は、社会人特別選抜による学生を内数で示す

[学位(博士(医学))授与数]

(令和4年5月1日現在)

旧制学位	新制学位		合計
	博士課程	論文博士	
三重県立医科大学	333	1,574	1,112
			3,019



職員・学生について

大学院医学系研究科・医学部について

図書及び雑誌 Books and Journals

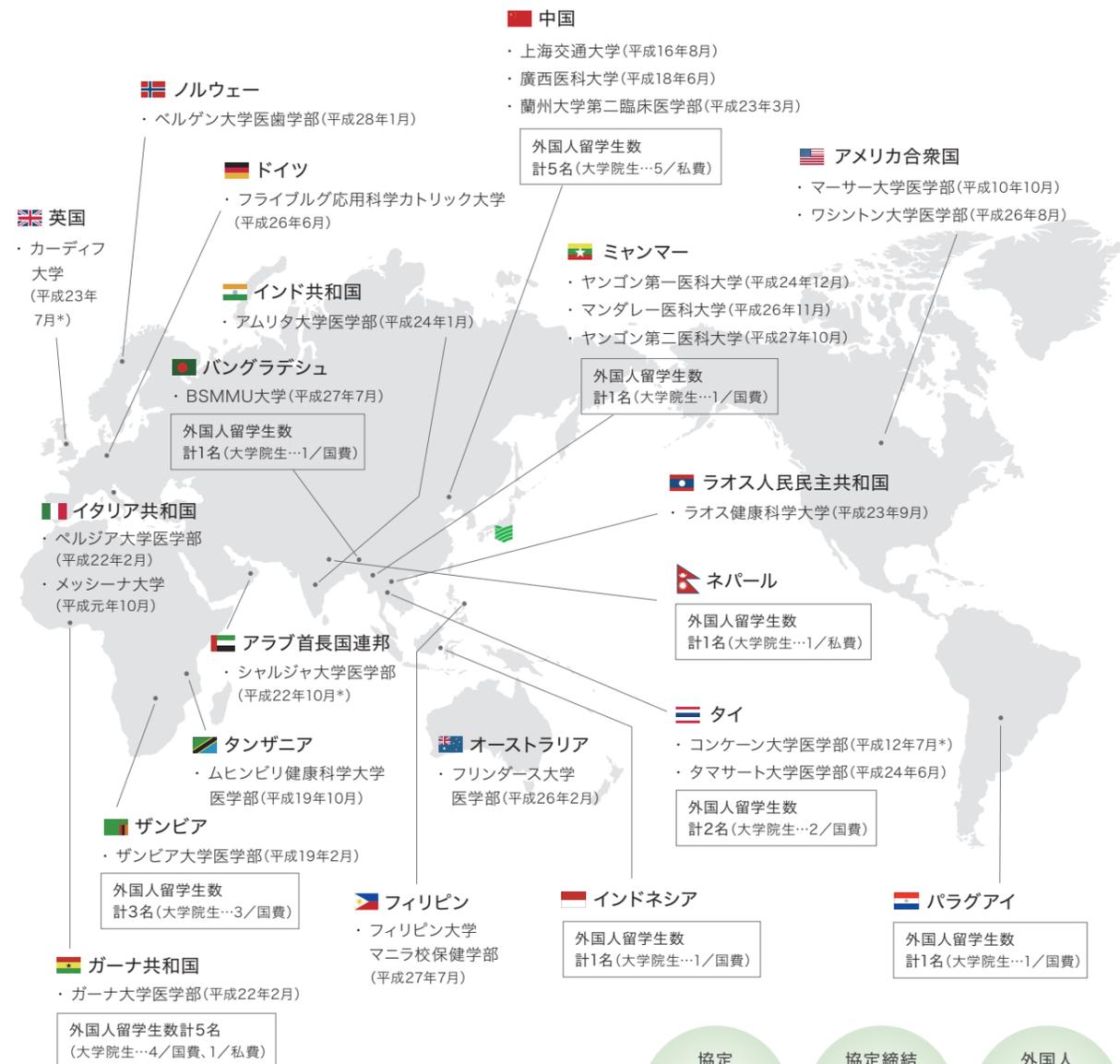
(令和4年3月31日現在)

区分	単行図書(冊)	製本雑誌(冊)	合計(冊)	区分	総種類数(種)	継続購入種類数(種)
和書	23,720	11,801	35,521	国内雑誌	622	93
洋書	2,579	22,565	25,144	外国雑誌	1,114	239
計	26,299	34,366	60,665	計	1,736	332

国際交流 International Exchange

[国際交流協定締結大学等(令和4年3月31日現在)・外国人留学生数(令和4年5月1日現在)]

(日付は協定締結年月日/＊は大学間協定)



協定締結国数 **17**カ国

協定締結大学数 **24**大学

外国人留学生数 **計20**名

解剖体数 Number of Autopsies

[系統解剖]

(令和4年3月31日現在)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	計
解剖体数	31	31	31	31	31	31	33	33	32	32	316
収集体数	34	49	65	42	47	47	49	39	21	36	429

[病理解剖]

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	計
解剖体数	20	20	19	16	18	12	23	11	12	18	169

科学研究費助成事業採択状況 Grants-in-Aid for Scientific Research

(令和3年度実績)

研究種目		件数	金額(千円)	計(件数)	計(金額/千円)
特定領域研究	医学部	0	0	0	0
	附属病院	0	0		
新学術領域研究	医学部	1	3,600	1	3,600
	附属病院	0	0		
基盤研究(A)	医学部	0	0	0	0
	附属病院	0	0		
基盤研究(B)	医学部	12	51,100	12	51,100
	附属病院	0	0		
基盤研究(C)	医学部	78	74,600	119	113,500
	附属病院	41	38,900		
挑戦の萌芽研究	医学部	0	0	0	0
	附属病院	0	0		
挑戦的研究(萌芽)	医学部	4	8,200	5	9,800
	附属病院	1	1,600		
若手研究(若手研究(B)含む)	医学部	21	16,200	53	47,200
	附属病院	32	31,000		
研究活動スタート支援	医学部	1	1,200	2	2,200
	附属病院	1	1,000		
研究成果公開促進費	医学部	0	0	0	0
	附属病院	0	0		
特別研究員奨励費	医学部	0	0	0	0
	附属病院	0	0		
奨励研究	医学部	0	0	0	0
	附属病院	0	0		
国際共同研究強化(A)	医学部	1	10,900	2	21,700
	附属病院	1	10,800		
国際共同研究強化(B)	医学部	2	6,700	3	10,200
	附属病院	1	3,500		
直接経費のみ 計	医学部	120	172,500	197	259,300
	附属病院	77	86,800		

外部資金受入状況 Origin and Division of Off-campus Funds

(令和3年度実績)

区分		件数	金額(千円)	計(件)	計(金額/千円)
奨学寄附金	医学部	943	609,424	998	657,425
	附属病院	55	48,001		
受託研究	医学部	44	452,520	93	526,563
	附属病院	49	74,043		
共同研究	医学部	46	181,094	54	184,991
	附属病院	8	3,897		
受託事業	医学部	4	16,150	10	70,645
	附属病院	6	54,495		
計	医学部	1,037	1,259,188	1,155	1,439,624
	附属病院	118	180,436		

医学部附属病院について

病院各階案内図 Guide to Hospital Floors

[病棟] (令和4年5月1日現在)

北棟		南棟		病床数
12F	・レストラン・三医会ホール			
11F	・血液内科 ・眼科 ・腫瘍内科 ・皮膚科			97床
10F	・循環器内科 ・腎臓内科	・糖尿病・内分泌内科 ・リウマチ・膠原病センター ・心臓血管外科	・呼吸器外科 ・呼吸器内科 ・放射線科	98床
9F	・消化管外科 ・消化器・肝臓内科 ・肝胆膵・移植外科			98床
8F	・整形外科 ・形成外科	・放射線科 ・脳神経外科 ・脳神経内科		99床
7F	・産科婦人科 ・乳腺外科	・周産母子センター		101床
6F	・腎泌尿器外科 ・歯科口腔外科	・小児科 ・心臓血管外科(小児) ・小児外科 ・細胞移植療法部		92床
5F	・耳鼻咽喉・頭頸部外科 ・総合診療科	・精神科神経科		76床
3F	・中央手術部 ・臨床麻酔部 ・中央材料部 ・輸血部 ・臨床工学部 ・病理部 ・中央検査部			
2F	・総合集中治療センター ・血液浄化療法部 ・光学医療診療部 ・中央放射線部			24床
1F	・中央材料部 ・薬剤部 ・医療材料渡し口 ・救命救急センター救急外科 ・栄養診療部 ・時間外受付・防災センター	・購買 ・理容室 ・美容室		合計 685床

[外来・診療棟]

5F	・大ホール	・臨床研修キャリア支援部 ・院内学級	・がんセンター ・患者図書館
4F	・皮膚科 ・歯科口腔外科・口腔ケアセンター	・精神科神経科	・脳波検査室 ・肝炎相談支援センター
3F	・総合診療科 ・中央採血室 ・リウマチ・膠原病センター ・循環器内科 ・神経・筋電図室 ・消化器・肝臓内科 ・エコー室 ・心電図室 ・緩和ケア科 ・総合内科 ・感染症内科	・呼吸器内科 ・呼吸器機能検査室 ・腎臓内科 ・運動機能検査室 ・血液内科 ・遺伝子カウンセリング室	・腫瘍内科 ・外来化学療法部 ・糖尿病・内分泌内科 ・血管ハートセンター ・腎泌尿器外科 ・オーダーメイド医療部
2F	・一般外科 ・小児外科 ・整形外科 ・眼科 ・中央放射線部(X線撮影・透視・CT・MRI) ・麻酔科(ペインクリニック・統合医療・鍼灸・漢方・慢性疼痛心理外来)	・心臓血管外科 ・産科婦人科 ・消化管外科 ・肝胆膵・移植外科 ・小児科 ・高度生殖医療センター	・脳神経外科 ・脳神経内科 ・呼吸器外科 ・乳腺センター ・耳鼻咽喉・頭頸部外科 ・形成外科 ・放射線科
1F	・総合サポートセンター ・臨床研究開発センター ・放射線治療 ・リハビリテーション部 ・ローソン	・臓器移植センター ・栄養診療部 ・ドトール	・各種受付 ・リボンスハウス ・ATMコーナー

附属病院の業務状況 Patient Service of University Hospital

[病床数及び患者数]

(令和3年度実績)

診療科	病床数	診療状況			
		入院		外来	
		患者延数(人)	1日平均患者数(人)	患者延数(人)	1日平均患者数(人)
血液内科	0	5,532	15.2	8,313	34.4
腫瘍内科	0	4,521	12.4	7,171	29.6
皮膚科	0	5,838	16.0	16,455	68.0
眼科	0	5,375	14.7	30,178	124.7
心臓血管外科・(小児循環器)	0	4,222	11.6	3,177	13.1
呼吸器外科	0	2,221	6.1	2,643	10.9
呼吸器内科	0	6,961	19.1	11,056	45.7
糖尿病・内分泌内科	0	1,099	3.0	14,605	60.4
循環器内科	0	8,804	24.1	17,352	71.7
腎臓内科	0	2,115	5.8	7,564	31.3
総合診療科	0	1,945	5.3	2,796	11.6
肝胆膵・移植外科	0	8,344	22.9	7,550	31.2
消化管外科	0	7,747	21.2	10,207	42.2
小児外科	0	1,495	4.1	2,063	8.5
消化器・肝臓内科	0	9,969	27.3	19,920	82.3
脳神経外科	0	9,713	26.6	9,200	38.0
脳神経内科	0	5,042	13.8	10,229	42.3
整形外科	0	13,112	35.9	16,655	68.8
形成外科	0	1,556	4.3	3,857	15.9
放射線科	0	2,567	7.0	17,117	70.7
産科婦人科	0	13,046	35.7	16,491	68.1
乳腺外科	0	2,467	6.8	13,426	55.5
小児科・(小児循環器)	0	10,043	27.5	7,737	32.0
腎泌尿器外科	0	8,178	22.4	16,749	69.2
歯科口腔外科	0	2,250	6.2	18,826	77.8
精神科神経科	30	5,858	16.0	19,543	80.8
耳鼻咽喉・頭頸部外科	0	6,925	19.0	12,730	52.6
麻酔科	0	0	0.0	7,192	29.7
総合集中治療センター(救急科)	0	5,561	15.2	691	2.9
周産母子センター	0	16,690	45.7	0	0.0
リウマチ膠原病センター	0	1,171	3.2	5,604	23.2
緩和ケア科	0	0	0.0	47	0.2
感染症内科	0	0	0.0	486	2.0
高度生殖医療センター	0	0	0.0	7,525	31.1
ゲノム診療科	0	0	0.0	944	3.9
リハビリテーション科	0	0	0.0	135	0.6
共通病床	655				
合計	685	180,367	494.2	346,234	1,430.7

※総合集中治療センター(救急科)患者延数は救急科患者数のみを計上

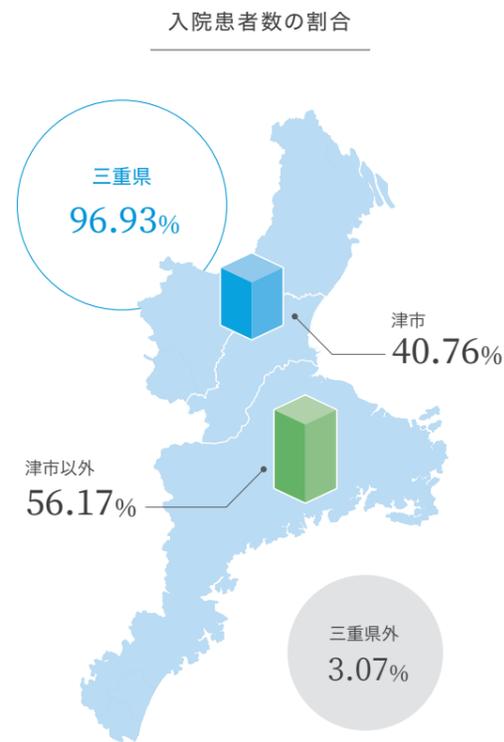
※外来の患者延数および一日平均患者数は、外来日数242日で計上 ※肝胆膵・移植外科に一般外科患者数を含む

※平成30年度より一般病棟は共通病床化したため診療科固有の病床は保有しない

地域別患者数

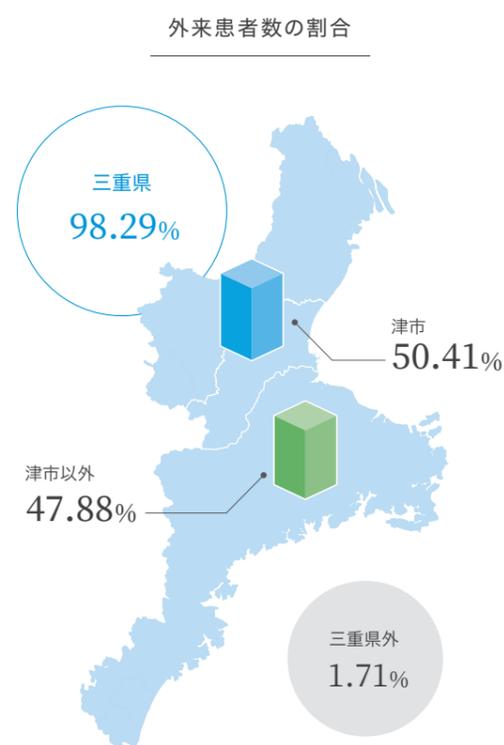
【入院患者数】 (令和3年度実績)

区分	入院延数(人) ※割合で調整後	%
三重県	174,821	96.93%
津市	73,520	40.76%
津市以外	101,301	56.17%
愛知県	1,869	1.04%
岐阜県	514	0.28%
静岡県	78	0.04%
北海道	19	0.01%
東北	83	0.05%
関東	584	0.32%
北陸・甲信越	16	0.01%
近畿	2,303	1.28%
中国・四国	58	0.03%
九州	22	0.01%
その他(沖縄)	0	0.00%
不明	0	0.00%
合計	180,367	100.00%



【外来患者数】 (令和3年度実績)

区分	外来延数(人) ※割合で調整後	%
三重県	340,286	98.29%
津市	174,517	50.41%
津市以外	165,769	47.88%
愛知県	2,153	0.62%
岐阜県	693	0.20%
静岡県	107	0.03%
北海道	12	0.00%
東北	13	0.00%
関東	476	0.14%
北陸・甲信越	71	0.02%
近畿	2,330	0.67%
中国・四国	62	0.02%
九州	25	0.01%
その他(沖縄)	8	0.00%
不明	0	0.00%
合計	346,236	100.00%



医療行為統計 Clinical Activities

【手術及び麻酔件数】

(令和3年度実績)

診療科	手術件数								麻酔件数		
	0~999点	1,000~2,999点	3,000~4,999点	5,000~9,999点	10,000~14,999点	15,000~19,999点	20,000点以上	計	0~999点	1,000点以上	計
脳神経内科	35	0	0	0	0	0	0	35	232	0	232
整形外科	13	21	28	64	81	120	457	784	379	983	1,362
産科婦人科	7	138	107	30	25	83	756	1,146	1,746	1,212	2,958
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	20
眼科	75	167	73	120	839	223	447	1,944	160	111	271
腎泌尿器外科	12	38	270	39	186	19	249	813	621	474	1,095
小児科	1	98	3	0	0	10	27	139	837	113	950
耳鼻咽喉・頭頸部外科	47	150	78	36	16	25	255	607	19	303	322
皮膚科	23	119	103	25	236	3	16	525	14	55	69
精神科神経科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	751	708	7	2	21	8	44	1,541	4	233	237
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	1,038	33	1,071
脳神経外科	11	23	21	5	78	21	348	507	100	537	637
総合診療科	0	0	0	5	0	0	0	5	2	0	2
循環器内科	1	5	90	55	18	59	625	853	245	71	316
消化器・肝臓内科	0	0	107	494	487	142	163	1,393	2	1	3
呼吸器内科	0	0	3	0	5	7	0	15	8	0	8
腎臓内科	0	0	2	0	14	0	0	16	1	0	1
血液内科	8	8	0	0	0	18	0	34	0	6	6
腫瘍内科	0	38	3	0	2	101	0	144	1	0	1
緩和ケア科	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
消化管外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
肝胆膵・移植外科	17	13	10	124	48	57	269	538	695	510	1,205
乳腺外科	8	6	2	40	19	46	236	357	254	319	573
小児外科	1	9	18	289	1	37	226	581	3	245	248
形成外科	1	15	20	67	19	15	49	186	148	255	403
心臓血管外科	22	130	63	63	38	25	101	442	52	128	180
呼吸器外科	0	1	48	4	4	3	358	418	32	658	690
放射線科	2	20	3	2	53	132	304	516	396	500	896
救急科	62	52	198	14	29	45	45	445	25	132	157
高度生殖医療センター	0	6	51	0	0	0	54	111	0	0	0
総計	1,097	1,765	1,308	1,479	2,219	1,199	5,029	14,096	7,034	6,880	13,914

【分娩数】

(令和3年度実績)

	成熟児	未熟児	計
正常分娩	191	82	273
異常分娩	158	73	231
計	349	155	504

[臨床検査件数(中央検査部、輸血部・細胞治療部、病理部)]

(令和3年度実績)

区分	入院(件)	外来(件)	計(件)
一般検査	23,924	106,412	130,336
血液学的検査	221,084	312,475	533,559
生化学的検査	1,029,607	2,054,707	3,084,314
免疫学的検査	75,024	163,932	238,956
微生物学的検査	32,642	10,705	43,347
病理学的検査	12,439	13,724	26,163
その他の検体検査	13,966	15,627	29,593
生理機能検査	9,990	30,204	40,194
採血・採液等	61,857	80,773	142,630
計	1,480,533	2,788,559	4,269,092

[X線撮影、透視、CT及びMRI検査人数]

(令和3年度実績)

区分	入院(件)	外来(件)	計(件)
一般撮影(単純)	26,513	33,188	59,701
一般撮影(造影)	1,014	653	1,667
X線CT検査	8,247	18,490	26,737
MRI検査	2,623	9,425	12,048
PET-CT	207	836	1,043
放射線治療	体外照射	8,391	9,396
	腔内照射	181	3
計	47,176	71,991	119,167

[処方枚数、件数及び薬剤数]

(令和3年度実績)

区分	枚数(枚)	件数(件)	薬剤数(剤)
入院	120,576	230,527	1,393,928
外来	院内	4,025	10,899
	院外	168,295	
計	292,896	241,426	1,521,485

医療機関等の指定状況等

Services related Medical Care Legislations and Dates of Approval

医療機関の承認等 (令和4年5月1日現在)

昭和48.10.1	医療法による病院開設認可	昭和63.3.29	臨床修練指定病院(外国医師・外国歯科医師)
〃	総合病院の名称使用承認	6.1	健康保険法による特定承認保険医療機関
〃	健康保険法による保険医療機関	〃	国民健康保険法による特定承認保険医療機関
〃	国民健康保険法による保険医療機関	平成6.11.1	特定機能病院の名称承認
昭和57.4.27	消防法による救急医療機関承認		

医療機関の承認等 (令和4年5月1日現在)

昭和48.10.1	生活保護法による医療		
〃	結核予防法による医療		
〃	労働者災害補償保険法による医療		
〃	老人福祉法による医療		
〃	母子保健法による医療(養育医療、三歳児精密検診)		
〃	児童福祉法による医療(育成医療)		
〃	精神保健法による医療		
〃	身体障害者福祉法による医療(更正医療)		
〃	戦傷病者特別援護法による医療(更正医療)		
〃	特定疾患治療研究事業(スモン、パーチェット病、重症筋無力症、全身性エリテマトーデス、多発性硬化症、再生不良性貧血)		
昭和48.12.7	船員法による医療		
昭和49.2.5	原爆医療法による医療		
4.1	小児慢性特定疾患治療研究事業(悪性新生物、慢性腎疾患、ぜんそく、先天性代謝異常、血友病等血痕疾患)		
9.1	公害健康被害補償法による医療		
10.1	特定疾患治療研究事業(サルコイドーシス、筋萎縮性側索硬化症、強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎、特発性血小板減少性紫斑病)		
〃	小児慢性特定疾患治療研究事業(慢性心疾患、内分泌疾患、膠原病、糖尿病)		
昭和50.8.1	地方公務員災害補償法による医療		
〃	国家公務員災害補償法による医療		
10.1	特定疾患治療研究事業(結節性動脈周囲炎、潰瘍性大腸炎、大動脈炎症候群、ピュルガー病、天痘瘡)		
昭和51.10.1	特定疾患治療研究事業(脊髄小脳変性症、クローン病、難治性肝炎のうち劇症肝炎)		
昭和52.10.1	特定疾患治療研究事業(悪性関節リウマチ)		
昭和53.10.1	特定疾患治療研究事業(パーキンソン病)		
昭和54.10.1	特定疾患治療研究事業(アミロイドーシス)		
昭和55.4.1	母子保健法による医療(妊娠・乳児一般健診)		
12.1	特定疾患治療研究事業(後縦靭帯骨化症)		
昭和56.10.1	特定疾患治療研究事業(ハンチントン病)		
昭和57.10.1	特定疾患治療研究事業(モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症))		
昭和59.1.1	特定疾患治療研究事業(ウェゲナー肉芽腫症)		
昭和60.1.1	特定疾患治療研究事業(特発性拡張型(うっ血型)心筋症)		
11.7	労働者災害補償保険法による医療(アフターケア)		
昭和61.1.1	特定疾患治療研究事業(シャイ・ドレーガ症候群)		
昭和62.1.1	特定疾患治療研究事業(表皮水痘症(接合部型及び栄養障害型))		
昭和63.1.1	特定疾患治療研究事業(膿瘍性乾癬)		
昭和64.1.1	特定疾患治療研究事業(広範脊柱管狭窄症)		
平成元.10.1	先天性血液凝固因子障害治療研究事業		
平成2.1.1	特定疾患治療研究事業(原発性胆汁性肝硬変)		
4.1	小児慢性特定疾患治療研究事業(神経筋疾患)		
平成3.1.1	特定疾患治療研究事業(重症急性膵炎)		

医療機関の承認等 (令和4年5月1日現在)

平成 4.	1.	1.	特定疾患治療研究事業(特発性大腿骨頭壊死症)
平成 5.	1.	1.	特定疾患治療研究事業(混合性結合組織病)
平成 6.	1.	1.	特定疾患治療研究事業(原発性免疫不全症候群)
平成 7.	1.	1.	特定疾患治療研究事業(特発性間質性肺炎)
平成 8.	1.	1.	特定疾患治療研究事業(網膜色素変性症)
	2.	21	エイズ治療拠点病院
平成 9.	1.	1.	特定疾患治療研究事業(プリオン病)
	1.	6	地域災害拠点病院の指定
平成10.	1.	1.	特定疾患治療研究事業(原発性肺高血圧症)
	4.	1	身体障害者福祉法による医療(更生医療)(ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害)
	5.	1	特定疾患治療研究事業(神経線維腫症Ⅰ型/神経線維腫症Ⅱ型)
	12.	1	特定疾患治療研究事業(亜急性硬化性全脳炎)
		〃	特定疾患治療研究事業(バット・キアリ(Budd-Chiari)症候群)
		〃	特定疾患治療研究事業(特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型))
平成11.	4.	1	特定疾患治療研究事業(ライソゾーム病)
平成12.	4.	1	特定疾患治療研究事業(副腎白質ジストロフィー)
	10.	1	身体障害者福祉法による医療(更正医療)(小腸に関する医療)
平成19.	1.	31	がん診療連携拠点病院の指定
平成20.	12.	15	肝疾患診療連携拠点病院の指定
平成25.	2.	8	小児がん拠点病院の指定
平成30.	3.	30	三重県アレルギー疾患医療拠点病院
令和 元.	9.	19	がんゲノム医療拠点病院
令和 2.	2.	26	特定行為研修指定研修機関の指定

基本診療の施設基準 (令和4年5月1日現在)

- 地域歯科診療支援病院歯科初診料
- 歯科外来診療環境体制加算
- 歯科診療特別対応連携加算
- 初診料、再診料、外来診療料
注1情報通信機器を用いた診療
- 特定機能病院入院基本料
- 特定機能病院入院基本料
注11入院栄養管理体制加算
- 臨床研修病院入院診療加算
- 救急医療管理加算
- 超急性期脳卒中加算
- 診療録管理体制加算1
- 医師事務作業補助体制加算2
- 急性期看護補助体制加算
- 急性期看護補助体制加算注2ハ
夜間100対1急性期看護補助体制加算
- 看護職員夜間配置加算
- 看護補助加算1
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 無菌治療室管理加算1・2
- 放射線治療病室管理加算
(密封小線源による治療の場合)
- 緩和ケア診療加算
- 精神科身体合併症管理加算
- 依存症入院医療管理加算
- 摂食障害入院医療管理加算
- 栄養サポートチーム加算
- 医療安全対策加算1
- 感染対策向上加算1
- 感染対策向上加算 注2指導強化加算
- 患者サポート体制充実加算
- 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ハイリスク妊婦管理加算
- ハイリスク分娩管理加算
- 呼吸ケアチーム加算
- 後発医薬品使用体制加算2
- 病棟薬剤業務実施加算1・2
- データ提出加算2
- 入院時支援加算1
- 地域連携診療計画加算
- 入院時支援加算
- 総合機能評価加算
- せん妄ハイリスク患者ケア加算
- 精神疾患診療体制加算1・2
- 排尿自立支援加算
- 地域医療体制確保加算
- 救命救急入院料4
- 救命救急入院料 注1算定上限日数に関する基準
- 救命救急入院料
注4早期離床・リハビリテーション加算
- 救命救急入院料 注9早期栄養介入管理加算
- 特定集中治療室管理料1
- 特定集中治療室管理料
注1算定上限日数に関する基準
- 特定集中治療室管理料
注4早期離床・リハビリテーション加算
- ハイケアユニット入院医療管理料2
- ハイケアユニット入院医療管理料
注3早期離床・リハビリテーション加算
- 新生児特定集中治療室管理料1
- 総合周産期特定集中治療室管理料
注3成育連携支援加算
- 小児入院医療管理料2
- 小児入院医療管理料 注5無菌治療管理加算1及び2

特掲診療料の施設基準 (令和4年5月1日現在)

- 外来栄養食事指導料の注2に規定する基準
- 口腔細菌定量検査
- 心臓ベースメーカー指導管理料(遠隔モニタリング加算)
- 高度難聴指導管理料
- 糖尿病合併症管理料
- がん性疼痛緩和指導管理料
- がん患者指導管理料イ・ロ・ハ・ニ
- 外来緩和ケア管理料
- 移植後患者指導管理料(臓器移植後・造血管細胞移植後)
- 糖尿病透析予防指導管理料
- 乳腺炎重症化予防ケア・指導料
- 婦人科特定疾患治療管理料
- 腎代替療法指導管理料
- 外来放射線照射診療料
- 外来腫瘍化学療法診療料1
- 外来腫瘍化学療法診療料 注6連携充実加算
- 一般不妊治療管理料
- 生殖補助医療管理料1
- 開放型病院共同指導料
- こころの連携指導料(Ⅱ)
- ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅱ)
- がん治療連携計画策定料
- 認知症専門診断管理料
- 肝炎インターフェロン治療計画料
- 外来排尿自立指導料
- ハイリスク妊婦連携指導料1・2
- 薬剤管理指導料
- 地域連携診療計画加算
- 診療情報提供料(Ⅰ) 検査・画像情報提供加算
- 診療情報提供料(Ⅰ) 電子的診療情報提供料
- 医療機器安全管理料1・2
- 歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び
歯科治療時医療管理料
- 在宅血液透析指導管理料
- 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
- 持続血糖測定器加算
- 遺伝学的検査
- 染色体検査 注2絨毛染色体検査
- 骨髄微小残存病変量測定
- BRCA1/2遺伝子検査
- がんゲノムプロファイリング検査
- 先天性代謝異常症検査
- 抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
- HPV核酸検出
- HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
- ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
- 遺伝性腫瘍カウンセリング加算
- 検体検査管理加算(Ⅰ)(Ⅳ)
- 国際標準検査管理加算
- 遺伝カウンセリング加算
- 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- 時間内歩行試験
- シャトルウォーキングテスト
- 胎児心エコー法
- ヘッドアップティルト試験
- 皮下連続式グルコース測定
- 長期継続頭蓋内脳波検査
- 脳波検査判断料1
- 神経学的検査
- 補聴器適合検査
- 黄斑局所網膜電図
- 全視野精密網膜電図
- ロービジョン検査判断料
- コンタクトレンズ検査料1
- 内服・点滴誘発試験
- センチネルリンパ節生検
- 前立腺生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)
- CT透視下気管支鏡検査加算
- 画像診断管理加算1, 2, 3
- ポジトロン断層撮影
- ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影
- CT撮影及びMRI撮影
- 冠動脈CT撮影加算
- 血流予備量比コンピュータ断層撮影
- 外傷全身CT加算
- 心臓MRI撮影加算
- 乳房MRI撮影加算
- 頭部MRI撮影加算
- 肝エラストグラフィ加算
- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 外来化学療法加算1
- 無菌製剤処理料
- 心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
- 脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
- 運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
- 呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
- 摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算
- がん患者リハビリテーション料
- 歯科口腔リハビリテーション2
- 認知療法・認知行動療法
- 精神科ショート・ケア及びデイ・ケア(小規模なもの)
- 抗精神病特定薬剤治療指導管理料
- 医療保護入院等診療料
- 手術用顕微鏡加算
- 硬膜外自家血注入
- エタノールの局所注入(甲状腺・副甲状腺)
- 人工腎臓
- 腎代替療法実績加算

【特掲診療料の施設基準（令和4年5月1日現在）】

- 人工腎臓注2ハ 導入期加算3
- 難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法
- 移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
- 透析液水質確保加算2
- 手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術
- う蝕歯無痛の窩洞形成加算
- 歯科技工加算
- 皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算)
- 皮膚移植術(死体)
- 組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る)【一次再建・二次再建】
- 四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
- 骨移植術(軟骨移植術を含む)(同種移植術(非生体)(同種骨移植術(特殊なものに限る)))
- 骨移植術(軟骨移植術を含む)(自家培養軟骨移植術に限る)
- 後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
- 椎間板内酵素注入療法
- 腫瘍脊椎骨全摘出術
- 脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)及び脳刺激装置交換術
- 癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)
- 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- 角結膜悪性腫瘍切除手術
- 仙骨神経刺激装置植込術・交換術(便失禁)
- 角膜移植術(内皮移植加算)
- 羊膜移植術
- 緑内障手術(流出路再建術(眼内法))
- 緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
- 緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
- 緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
- 網膜再建術
- 内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
- 経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
- 人工中耳植込術
- 人工内耳植込術、植込骨導補聴器移植術及び植込型骨導補助器交換術
- 内視鏡下鼻・副鼻腔手術V(拡大副鼻腔手術)
- 経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
- 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む)
- 内視鏡的逆流防止粘膜切除術
- 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
- 上顎・下顎骨形成術(歯科診療に係るものに限る)
- 頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
- 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(MRIによるもの)
- 遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術
- 乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪切除術(腋窩郭清を伴うもの))

- ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術
- 乳がんセンチネルリンパ節加算1,2
- 胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(内視鏡支援機器を用いる場合)(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
- 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもの)
- 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
- 肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る)
- 食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
- 胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
- 胸腔鏡下弁形成術
- 経皮的僧帽弁クリップ術
- 経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的冠動脈弁置換術)
- 胸腔鏡下弁置換術
- 経皮的中等心筋焼灼術
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ペースメーカー移植術(リードレスペースメーカー)
- 両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
- 両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
- 植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
- 植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術
- 両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付埋込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
- 両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付埋込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
- 大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
- 経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
- 補助人工心臓
- 腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
- 腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
- 腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
- 内視鏡的小腸ポリープ切除
- 腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
- 腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
- 腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))

【特掲診療料の施設基準（令和4年5月1日現在）】

- 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)
- 副腎腫瘍ラジオ波焼灼療法
- 胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの)
- 腹腔鏡下肝切除術
- 腹腔鏡下肝切除術(亜区域切除、1区域切除(外側区域切除を除く)、2区域切除及び3区域切除以上のもの)
- 生体部分肝移植術
- 同種死体肝移植術
- 腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
- 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
- 腹腔鏡下膵頭部切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合を除く)
- 腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 腹腔鏡下直腸切除・切断術(切断術、低位前方切除術及び切断術に限る)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
- 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
- 腹腔鏡下尿管悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
- 腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 同種死体腎移植術
- 生体腎移植術
- 膀胱水圧拡張術
- 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
- 人工尿道括約筋植込・置換術
- 膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)
- 埋没陰茎手術
- 精巣内精子採取術
- 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器加算を用いるもの)
- 腹腔鏡下仙骨腔固定術
- 腹腔鏡下仙骨腔固定術(内視鏡手術用支援機器を用いた場合)
- 腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

- 腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
- 遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術
- 胎児胸腔・羊水腔シャント術
- 臍帯穿刺
- 体外式膜型人工肺管理料
- 輸血管理料(I)
- 貯血式自己血輸血管理体制加算
- 自己生体組織接着剤作成術
- 同種クリオプレシペート作製術
- 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 胃瘻造設時嚥下評価機能加算
- 歯周組織再生誘導手術
- 手術時歯根面レーザー応用加算
- 広範囲顎骨支持型装置埋入手術
- 麻酔管理料I・II
- 周術期薬剤管理加算
- 放射線治療専任加算
- 外来放射線治療加算
- 高エネルギー放射線治療
- 強度変調放射線治療(IMRT)
- 1回線量増加加算(全乳房照射)
- 画像誘導放射線治療加算(IGRT)
- 体外照射呼吸性移動対策加算
- 1回線量増加加算(前立腺照射)
- 定位放射線治療
- 定位放射線治療呼吸移動対策加算
- 画像誘導密封小線源治療加算
- 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
- 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
- デジタル病理画像による病理診断
- 病理診断管理加算2
- 悪性腫瘍病理組織標本加算
- クラウン・ブリッジ維持管理料
- CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー

【先進医療A(第2項先進医療技術)(令和4年5月1日現在)】

平成25.3. 1	末梢血単核球移植による血管再生治療
令和 4.4. 1	子宮内膜受容能検査
〃	子宮内細菌叢検査

【先進医療B(第3項先進医療技術)(令和4年5月1日現在)】

平成27. 7. 1	インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法
平成28.11. 1	腹腔鏡下センチネルリンパ節生検早期胃がん

大学院医学系研究科・医学部 (令和4年5月1日現在)

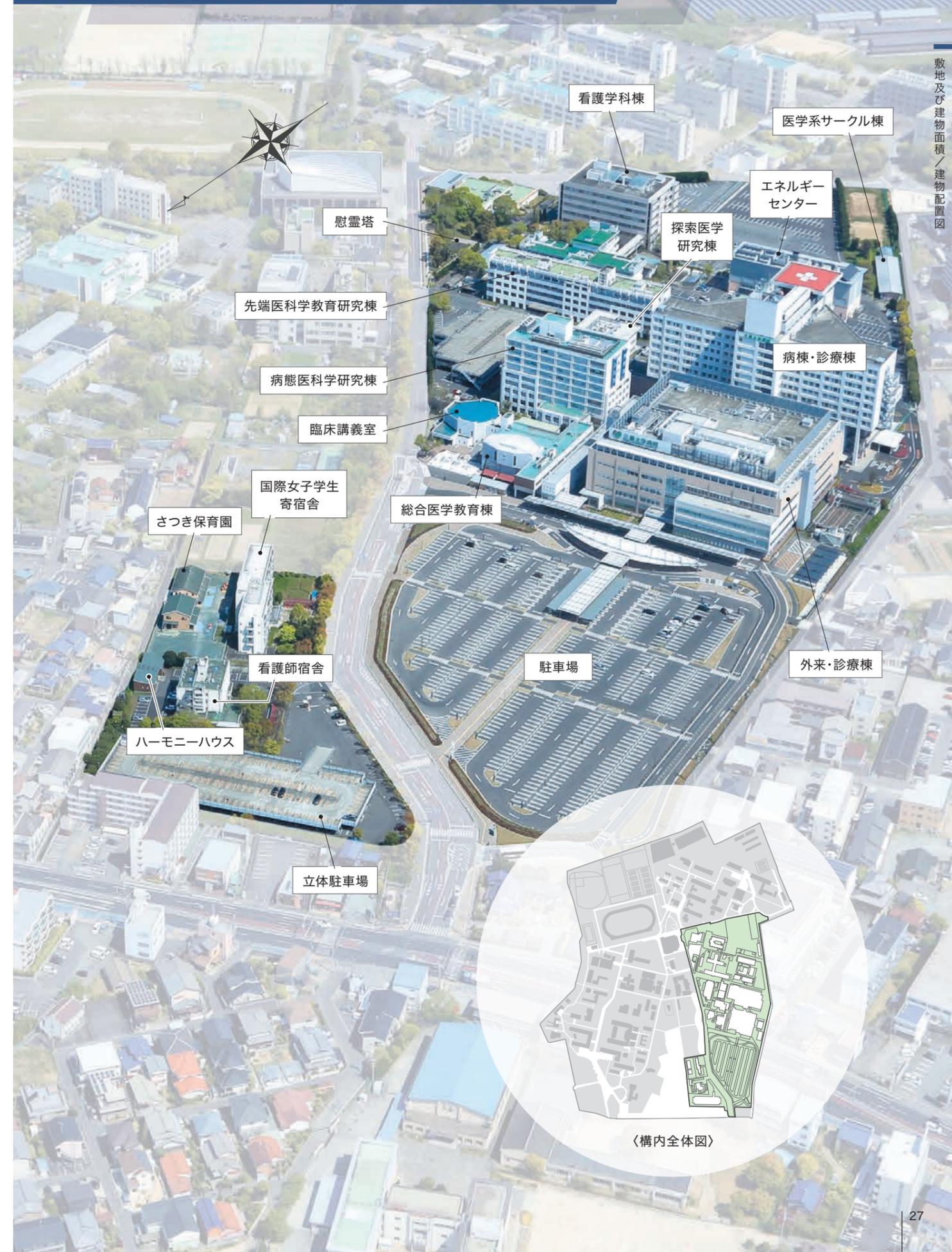
敷地面積/51,143㎡ 建物面積/33,305㎡

名称	構造	面積(㎡)	建築年月日
先端医科学教育研究棟(基礎医学校舎)	RC-5	9,139	昭和45.12.15
多用途棟	S-1	288	昭和45.12.15
変電室	S-1	150	昭和45.12.15
医学系サークル棟	S-1	389	昭和46. 3.31
総合医学教育棟	RC-2	2,130	昭和48. 4.30
探索医学研究棟	RC-3	3,229	昭和49. 8.31
乾燥室	B-1	41	昭和50. 2.28
病態医科学研究棟	SRC-9	9,804	昭和50.12.25
臨床講義室	R-2	621	昭和55. 3.31
看護学科棟	SRC-6	7,056	平成12.11.16
医療技術棟	S-1	156	平成15
渡り廊下	—	186	—
その他	—	89	—
計		33,278	

医学部附属病院 (令和4年5月1日現在)

敷地面積/68,593㎡ 建物面積/82,326㎡

名称	構造	面積(㎡)	建築年月日
看護師宿舎	RC-4	1,323	昭和50. 7.26
臨床研究開発センター	S-2	224	平成21. 7. 6
保育園(別棟含む)	W-2(S-1)	673	令和 4. 3.29
エネルギーセンター	R-3	2,480	平成22.12.28
病棟・診療棟	SRC-12	40,650	平成23. 6.30
外来・診療棟	RC-5	28,361	平成26.12
感染症危機管理センター	S-2	195	令和 3.10.29
ハーモニーハウス	W-1	113	平成26
管理施設	—	1,296	—
立体駐車場(2箇所)	—	7,062	—
駐車整理券事務所	S-1	87	平成29. 7.31
その他	—	76	—
計		82,540	



敷地及び建物面積/建物配置図

三重大学大学院 医学系研究科・医学部
<https://www.medic.mie-u.ac.jp>

三重大学医学部 看護学科
<https://www.medic.mie-u.ac.jp/nur/>

三重大学医学部附属病院
<https://www.hosp.mie-u.ac.jp>

所在地・連絡先 〒514-8507 三重県津市江戸橋二丁目174番地 TEL 059-232-1111



路線	乗車区間	所要時間	徒歩
■ 近鉄電車「急行」で	名古屋より 近鉄名古屋駅	約60分	約15分
	京都・大阪より 伊勢中川駅	約15分	
■ 近鉄電車「特急」で	名古屋より 近鉄名古屋駅	約50分	
	大阪より 大阪難波駅	約90分	
	京都より 京都駅	約110分	
■ JR「快速みえ」で	名古屋より JR名古屋駅	約50分	

バス・タクシー 約15分

- 近鉄・JR「津駅」から
 - 津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで、「大学病院」(93系統)、「白塚駅」(06系統)行きの一部で、「大学病院」下車
 - 津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで、「白塚駅」(06系統)、「千里駅」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「椋本(むくもと)」(52系統)、「豊が丘」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「大学病院前」下車
 - 津駅からタクシーで約10分。
- 近鉄「江戸橋駅」から
徒歩で約15分(江戸橋駅にはタクシー乗り場はありません)。
- 中部国際空港(セントレア)から
津エアポートライン(船)で津なぎさまちへ40分
 - 「津なぎさまち」から三重交通バスで「津駅前」まで約15分
 - 「津なぎさまち」からタクシーで三重大学まで約15分

PHOTO GALLERY 2022 三重大学病院 フォトギャラリー



夜の病院外観



エントランス



スタッフステーション



感染症危機管理センター



小児外来



待合



病棟



磁気共鳴診断装置



放射線治療室



ハイブリッド手術室



ドクターヘリ



手術支援ロボット「ダヴィンチ」

国立大学法人 三重大学
 大学院医学系研究科・医学部 医学部附属病院
 概要(令和4年度/2022)

発行日/2022年8月
 発行者/国立大学法人 三重大学
 大学院医学系研究科・医学部 医学部附属病院
 〒514-8507 三重県津市江戸橋二丁目174番地

O U T L I N E 2 0 2 2



三重大学シンボルマーク



三重大学病院シンボルマーク



三重大学病院キャラクター
ミーベとミッピ